第1学年　技術・家庭科(技術)学習指導案

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 日　時 | | 平成　年　月　日　第　校時 | | | | | |
| 単元名 | | 材料と加工に関する技術 | | | | | |
| 本  時 | 主題 | ものづくりの進め方 | | | | | ／ |
| ねらい | ものづくりの進め方について知る | | | | | |
| 準備物 | 金きりばさみ、のこぎり、サンドペーパー、角材、アルミ、ペットボトル、鉛、金槌  プロジェクタ、パソコン | | | | | |
| 学　習　活　動 | | | T | 形態 | ○学習内容　※指導上の留意点 | ◇評　価 | |
| １　ものづくりを思い出す。  ２　ものづくりの進め方についての説明を聞く。  ３　技家ノート7ページをする。  ４　さまざまな材料  ５　角材をのこぎりで切る。  ６　金属の特徴について知る。  ７　プラスチックの特徴について知る。  ５　次時の予定をきく。 | | | ３  ７  ５  ３  15  ７  ５ | 一斉  個別  ↓  一斉  個別  一斉  班  班  一斉 | * 今までのモノづくりを思い出して、最初にしたことを思い出させ、発言させる。   ○　身の回りの製品は、最初に目的が考えられ、設計と制作の過程を経て作られることを説明する。   * + ものづくりの進め方のモデル図を示す。目的の段階で消費した資源の循環利用(循環型社会)や人にやさしいユニバーサルデザインや安全面、健康面などについても考えなければならないことを説明する。   ○　２番は発表してもらい、みんなで多様な考え方を共有する。  ○　プレゼンを使って身の回りのものには用途に応じた材料が使われていることを説明する。  ○　木材を中心にそれぞれの材料について説明する。  ○　のこぎりの使い方について説明する。  ○　班に分かれて一人一人角材をのこぎりで切ってみる。  ○　金きりばさみを使ってアルミを切ってみる。どんな感じがするか感想を発表する。  ○　鉛を金づちでたたいてみる。どうなったかを発表する。  ○　これらの実験から金属には5つの性質があることをプレゼンを使って説明する。  ○　プラスチックについてプレゼンを使って説明する。 | ●　技家ノートを記入することができたか。  ●　のこぎりで角材を切ることができたか。  ●　金属の特徴について理解することができたか。  ●　プラスチックの特徴について理解することができたか。 | |
| 反  省 | のこぎりを使って実際に角材を切らせる活動は、生徒の中には初めてのこぎりを使うことを経験するものもいて、結構楽しんで活動できていたが、その結果、時間をとりすぎてしまい、後の活動に支障が出てしまった。 | | | | | | |